



耐硫酸性ポリマーセメントモルタル

ショウクイック®

ショウクイック®は、下水道施設用および各種コンクリート構造物の改修工事において耐硫酸性に優れた断面修復材です。

特長

- 高炉スラグ系粉体及び特殊繊維を配合した耐硫酸性に優れたポリマーセメントモルタルです。
- 粉末樹脂混入タイプの一材化製品です。
- 日本下水道事業団「下水道コンクリート構造物の腐食抑制技術及び防食技術マニュアル」断面修復材モルタルの品質規格に適合しています。

性能試験データ

試験項目		品質規格	試験結果		試験規格
			ショウクイック®		
曲げ強度 (N/mm ²)	材齢	3日	3.0以上	5.7	日本下水道事業団 「下水道コンクリート構造物の 腐食抑制技術及び 防食技術マニュアル平成 29年12月」 断面修復用モルタルの品質規格
		28日	7.0以上	10.9	
圧縮強度 (N/mm ²)	材齢	3日	25以上	36	
		28日	45以上	76	
接着性 (N/mm ²)	材齢28日	1.5以上	2.5		
長さ変化率 (%)	材齢28日	-0.1以上	-0.09		
耐酸性 [重量変化率 (%)]	浸漬28日	±10以内	+6		
硫酸浸透深さ (mm)	浸漬28日	3.0以下	3.0		

※詳細は試験成績書を参照ください。

用途

【各種コンクリート構造物の改修工事における躯体断面修復材として】

- 下水道処理施設、農業、漁業集落排水処理施設、し尿処理施設関連の改修工事。
- 厨房除害施設、排水処理施設等の各種水槽改修工事で耐硫酸性が要求される工事。

注意 上記以外の用途でご使用される場合は、事前に当社にご相談ください。

使用材料

■プライマー 荷姿・標準施工面積

品名	荷姿	標準使用量	標準施工面積
ARプライマー (アクリル系)	4kg/缶	0.03kg/m ² ※	133m ²
	18kg/缶		600m ²

※水を添加する前の使用量です。調査後は0.1kg/m²が標準塗布量となります。



ARプライマー
4kg

ARプライマー
18kg

■粉体 荷姿

品名	荷姿
ショウクイック® (粉体)	25kg/袋



ショウクイック®

標準施工面積

配合比	ショウクイック®	水	練り上がり量	標準施工面積
1袋あたり	25kg	3.9kg~4.6kg	14リットル/袋	1.4m ² (10mm厚)

本製品は、JCQAによりISO9001認証された製造事業所によりつくられています

施工方法

1. 下地処理

- ① サンドブラスト、ウォータージェット、はつり等で劣化したコンクリートを除去し健全なコンクリート面を露出させてください。(脆弱部分、油分、ゴミ、突起物等は完全に除去してください。)
- ② 漏水箇所は必ず止水処理を行ってください。
- ③ 鉄筋が錆びている場合は防錆処理をしてください。
- ④ 塗布する躯体の清掃を十分に行ってください。

2. プライマー塗布

ARプライマー (3倍液)

- ① 計量
プライマー1/水2の重量比で台はかりで計量してください。(水は現場にてご用意ください。)
- ② 混合
ハンドミキサーで泡の巻きこみがないように3分間混合してください。
- ③ 塗布
標準塗布量(0.1kg/m²)をローラー、ハケまたは噴霧器等で塗布します。表面が乾き、透明になってからショウクイック®(モルタル)を施工してください。(20℃で60分が目安)

注意 表面が白いうちにショウクイック®(モルタル)を施工すると接着強度が出ないことがあります。

③ 塗付け

- 塗付け前にARプライマーが表面乾燥していることを確認してください。
 - 最初の1層は、約2mm程度でしごき塗りをしてください。
 - その後の塗重ねは下層がある程度硬化してきた(材料が動かない状態)後に行ってください。
 - 塗厚の目安は、一日あたり30mmを限度として、1回あたり5~10mmの間で塗重ねてください。また、施工箇所が大面積の平面で、全面に15~30mm塗重ねる場合は、2日に分けて塗重ねてください。
- ※ 欠損が大きく、落下の危険がある場合は、アンカー等の落下防止対策を行ってください。
- ※ 可使用時間は約60分(20℃)です。気温、水温等によって影響を受けますので、ご使用前に一度試し練りをして確認してください。

標準塗付け可能厚さ※(コテ、吹付け)

壁面ハツリ箇所の埋め込み	壁面	床面	天井面
5~30mm	5~20mm	5~30mm	5~10mm

※厚さは目安であり、下地条件によって異なります。

注意 混練後の材料は速やかにご使用ください。(温度、施工条件により硬化時間が異なります。)

3. 塗付け

- ① 計量
粉体25kg/水3.9~4.6kgの重量比で計量してください。(水は現場にてご用意ください。)
- ② 混練
容器の中に水を入れ、ショウクイック®を徐々に加えながらモルタルミキサーまたはハンドミキサーで泡の巻きこみや固まりができないように3分間混練してください。

4. 養生

- ・ スラグ系材料は表面乾燥しやすいので、送風機等の風が直接施工面に当たらないようにしてください。また状況によっては散水養生をおこなってください。※その他詳細は別途施工要領書をご参照ください。
- ・ 塗り付け後に有機系素地調整材等を施工する場合には、養生は3日以上(20℃)としてください。※その他の場合は別途施工要領書をご参照ください。

注意事項

〈施工上の注意〉

- 気温が5℃以下の時は施工を中止するか、適当な保温、採暖を行ってください。
- 施工中及び施工後、硬化前に降雨、降雪の恐れのある場合は施工を中止してください。
- 現場にて砂、セメント等を追加混入することは絶対に避けてください。
- セメント製品に特有の現象である白華(エフロ)が発生することがありますが、品質に異常はありません。

〈使用上の注意〉

- 取扱い時は、必ず保護具(保護手袋、保護眼鏡、マスク等)を着用してください。
- 取扱いは換気の良い場所にて行ってください。
- 取扱い後はうがい及び手洗いを充分に行ってください。
- 取扱い後の器具類は早めに水洗いしてください。

〈応急処置〉

- 目に入った場合:直ちに多量の水で15分以上洗眼し、医師の診断を受けてください。
- 皮膚に付着した場合:直ちに水で良く洗い流し、必要に応じて医師の診断を受けてください。
- 誤飲した場合:多量の水を飲ませ吐かせた後、直ちに医師の診断を受けてください。

〈保管上の注意〉

〔粉体〕

- 雨露のかからない湿気の少ないところに保管し、地面に直接放置しないでください。
- ご購入された製品は製造から4ヶ月以内にご使用ください。
- (ARプライマー)
- 凍結や直射日光を避ける為に必ず室内(5~40℃)に保管してください。
- 開封後の使用残は密封した状態で保管してください。

〈輸送上の注意〉

- 粉体、ARプライマーとも内容物の漏れが無い事を確認し、転倒、落下、損傷が無いように積み込み、荷崩れの防止を確実に行ってください。
- 湿気、水漏れに注意してください。

〈廃棄上の注意〉

- 都道府県条例に基づき処理するか、許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託してください。

〈漏出時の注意〉

- 飛散した粉体は掃除機で吸い取るか、スコップ、ほうき等で集め、袋などに回収してください。
- 流出したARプライマーは流路を毛布、土壌等を用いてせき止め、バキューム等で吸い上げるか、少量の場合はおが屑、ウエス、乾燥砂等に吸収させて回収し焼却してください。
- 粉体が混合した排水は中和、希釈処理などを行い、河川等に直接流出しないようにしてください。

〈環境への配慮〉

- 混和液が海、河川、湖沼、池、下水道、公共用水域へ流出すると、広範囲にわたって汚濁汚染することとなるので、絶対に破棄したり誤って流入させないでください。万が一流入した場合は地方自治体の担当者に直ちに連絡してください。また、地下水を汚染するおそれのある地中には捨てないでください。

その他の各製品の取り扱いについては別途SDSをご参照ください。

このカタログの記載内容は2020年3月現在のものです。製品改良のためにことわりなく仕様変更する場合がありますのでご了承ください。カタログに記載の数値は試験値であり、保証値ではありません。安全上の注意事項の詳細については別途、安全データシート(SDS)をご参照ください。

昭和電工建材株式会社

■ 本社・建設資材営業部

〒221-8517
横浜市神奈川区恵比須町8番地
TEL(045)444-1691
FAX(045)444-1699
https://www.sdk-k.com/dobokuzai_kp/

【ISO 9001 品質マネジメントシステム登録事業所】

■ 仙台営業所	〒983-0841	仙台市宮城野区原町3-7-14
■ 名古屋営業所	〒460-0008	名古屋市中区栄3-11-23
■ 大阪営業所	〒532-0011	大阪市淀川区西中島6-5-3
■ 福岡営業所	〒810-0001	福岡市中央区天神4-1-1
■ 関東SCMセンター	〒120-0024	足立区千住関屋町1-4
■ 東北SCMセンター	〒983-0034	仙台市宮城野区扇町1-7-2
■ 中部SCMセンター	〒452-0837	名古屋市中区西郷1-10-1
■ 関西SCMセンター	〒567-0058	茨木市西豊川町14-3

TEL (022) 742-5077	FAX (022) 291-1911
TEL (052) 249-3151	FAX (052) 249-3152
TEL (06) 6100-2202	FAX (06) 6100-1232
TEL (092) 737-5061	FAX (092) 737-5062
TEL (03) 3881-5001	FAX (03) 3870-3952
TEL (022) 231-2070	FAX (022) 231-2073
TEL (052) 501-2421	FAX (052) 501-2424
TEL (072) 641-6399	FAX (072) 641-6401